

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

第一生命ライフパートナー投資法人（証券コード：-）

【据置】

長期発行体格付
格付の見通し

AA-
安定的

■格付事由

- 第一ライフグループ（以下、DLG）のブランドメッセージ「一生涯のパートナー」を体現し、投資対象を住宅、QOL 向上アセット（保育所や生活密着型商業施設、メディカル施設、ヘルスケア施設等の総称）とする非上場のオープン・エンド型投資法人。資産運用会社である第一生命リアルティアセットマネジメント（DLR）の現株主は第一ライフ丸紅リアルエステート（DLG と丸紅がそれぞれ 50%ずつ出資している合弁会社。以下「DMRE」）（出資比率 70%）、相互住宅（同 30%）。現行ポートフォリオは 116 物件、取得価格総額は 1,901 億円となっている。
- 運用開始以降、継続的な増資が行われており、スポンサーサポートの活用や独自のソーシングルートなどによる物件取得の結果、資産規模は順調に拡大している。賃貸事業運営については、ポートフォリオ全体の稼働率が 95%以上で維持されているほか、好調なマーケット環境も背景に賃料の大幅な増額の実績も示されている。こうしたトラックレコードや、分散されたポートフォリオ構成、今後も DLG が有する不動産事業における経験やノウハウが寄与していくことを考慮すれば、安定したキャッシュフローの創出は可能とみている。財務面では安定したレバレッジコントロールがなされるなど健全な財務運営が継続されている。以上を踏まえ、格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- 25 年 7 月に DLG は丸紅と国内不動産事業を統合しており、今後は AM 事業を中核とした強固な不動産バリューチェーン構築による事業基盤の強化、パイプライン拡充による外部成長の進展が期待される。第一生命保険および相互住宅と本投資法人との間のスポンサーサポート契約は引き続き有効であり、外部成長・内部成長の両面においてそのサポートが継続される見込みである。DLG の不動産事業のノウハウ及び数十年に亘り蓄積されたトラックレコードが、本投資法人の安定した運営の下支えとなることが想定される。加えて、保有物件の競争力維持・向上に向けた専有部の価値向上への取り組みについて、JCR では注目していく。
- 総資産ベースの LTV は、おおむね 40%前半の水準でコントロールされていたが、足元ではデットによる物件取得により LTV はやや上昇している。本投資法人では、各期の払戻対象口数を原則として発行済投資口数の一定割合に制限することで、LTV が大幅に上昇するリスクを抑制している。デット・ファイナンスでは金利動向に注視しつつ返済期限の分散化を企図した調達が続けられている。JCR では財務の健全性の維持に向けた DLR のレバレッジコントロール、財務基盤のさらなる安定化に向けた取り組みに注目していく。

（担当）秋山 高範・古口 雄介

■格付対象

発行体：第一生命ライフパートナー投資法人

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA-	安定的

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2026年5月14日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：秋山 高範
主任格付アナリスト：秋山 高範
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「J-REIT」（2017年7月3日）として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) 第一生命ライフパートナー投資法人
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っており、JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル